

2021年7月8日
内閣府男女共同参画局
Gender Equality Bureau Cabinet Office
「人生100年時代の結婚と家族に関する研究会」

人口変動から考える男女共同参画

岩澤美帆

国立社会保障・人口問題研究所
<http://www.ipss.go.jp/>

- 「データに基づく」、その前に・・・
 - エビデンス・ベスト・ポリシー・メイキングの潮流
 - データ、指標の洪水とポリシー・ベスト・エビデンス・メイキングの懸念
 - データの読み方、視点を共有することが重要

今改めて・・・

- ジェンダー平等、なぜ重要か？どのような社会を目指せばいいのか？
 - 2000年代、なぜ男女平等が政府の課題となったのか
 - 男女平等に関わる人口状況
 - ジェンダー平等、ジェンダー公平をめぐる近年の議論

- 5/19日 山田報告、稲葉報告
 - 家族のスタンダードの変化 ×
 - 家族のスタンダードの継続と難化。結果として非スタンダードな生き方が増加 ○
- 本日 なぜジェンダー、家族は変化？人口変動の観点で解釈
 - 動かさない事実、変えられる未来を理解
 - なぜ今、家族を持ってないのか、ではなく、なぜ当時家族を持つことができたのか、を理解
 - その上で、今後の人口減少社会では、どのようなジェンダー平等社会をめざせばよいのかを考える

なぜ男女平等、公正なジェンダーが求められる？

人口問題との関わり

1994年国際人口開発会議/カイロ会議

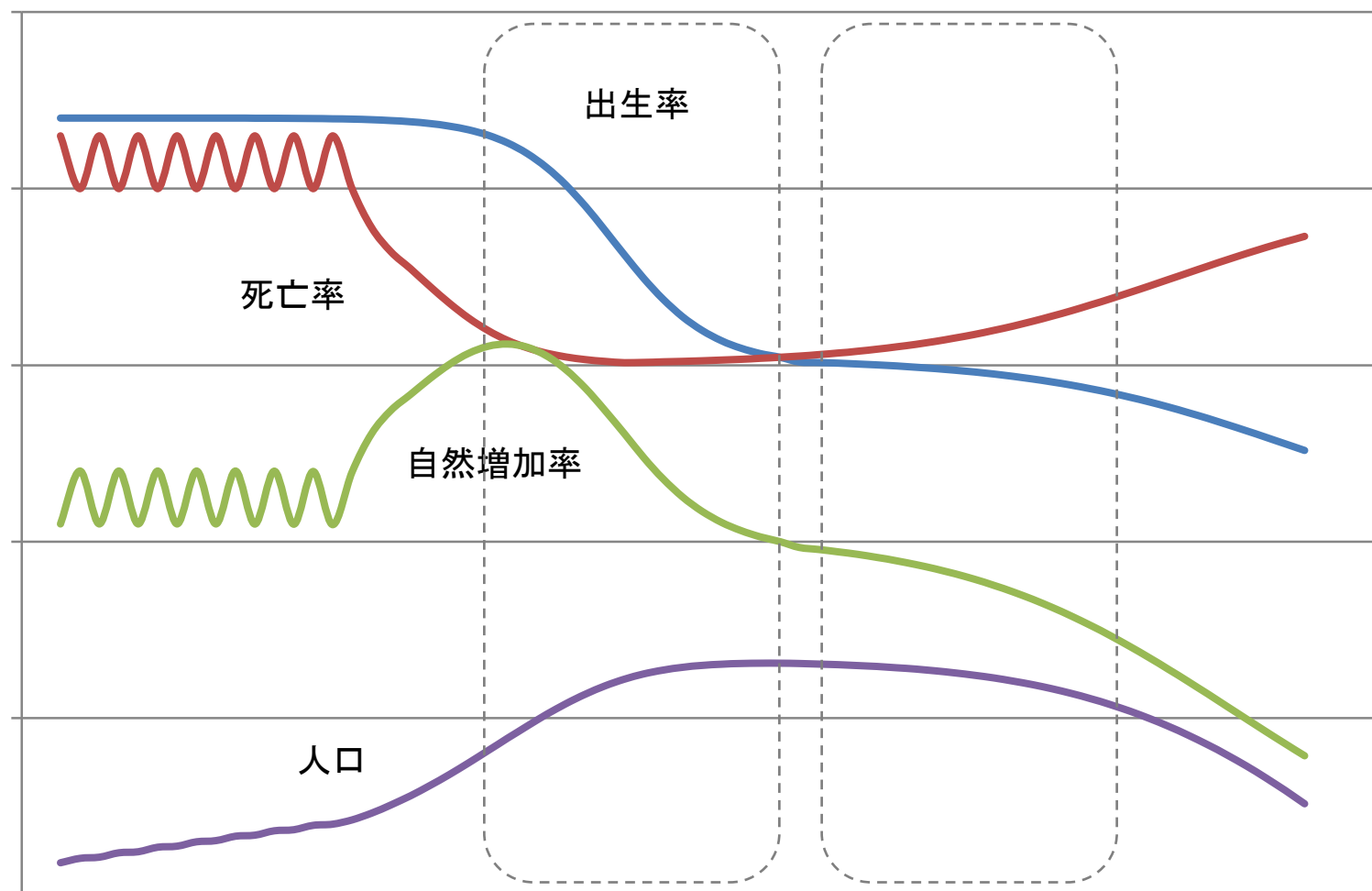
マクロ（人口ターゲット）からミクロ（人権・自己決定、平等）へ
ジェンダー平等

Population and Gender Equity(Sen 2001)

- 出生数を減らす、増やすことに魔法の手段は無い。
 - × 強制不妊手術、中絶の禁止、無子税／出産祝い金
- 強制、脅迫ではなく自由と正義が有効
- 社会を広く変革されるための統合された接近法が必要
 - 女性のエンパワーメント、ジェンダー公平
- 人権、教育、労働、政治・・・あらゆる分野に影響を与える肥料
- 様々な取り組みをintegrationする役割
- 女性に関する正義は、女性の未来にとってだけでなく、世界の未来にとって重要

なぜ社会は男女不平等だったのか

人口転換とポスト人口転換



人口転換期の特殊性

- 死亡率が低下するが出生率が高い時代に、若年人口が増加
- 一度だけ訪れるキョウダイが多い青年人口の増加
 - 娘に優先して息子が進学
 - 長男以外、親から離れ都市へ
 - 核家族形成（ニューファミリー）
 - 少ない20代男性と多い20代女性
- 一度だけ訪れる人口ボーナス期（子どもが少なく、高齢者が少なく経済成長、終身雇用）
- 子どもは量から質へ（家族計画、二子規範）
- 子育て・教育に労力を注ぐ主婦業の登場

男性優位

経済成長

人口置換水準
出生力

性別役割分業

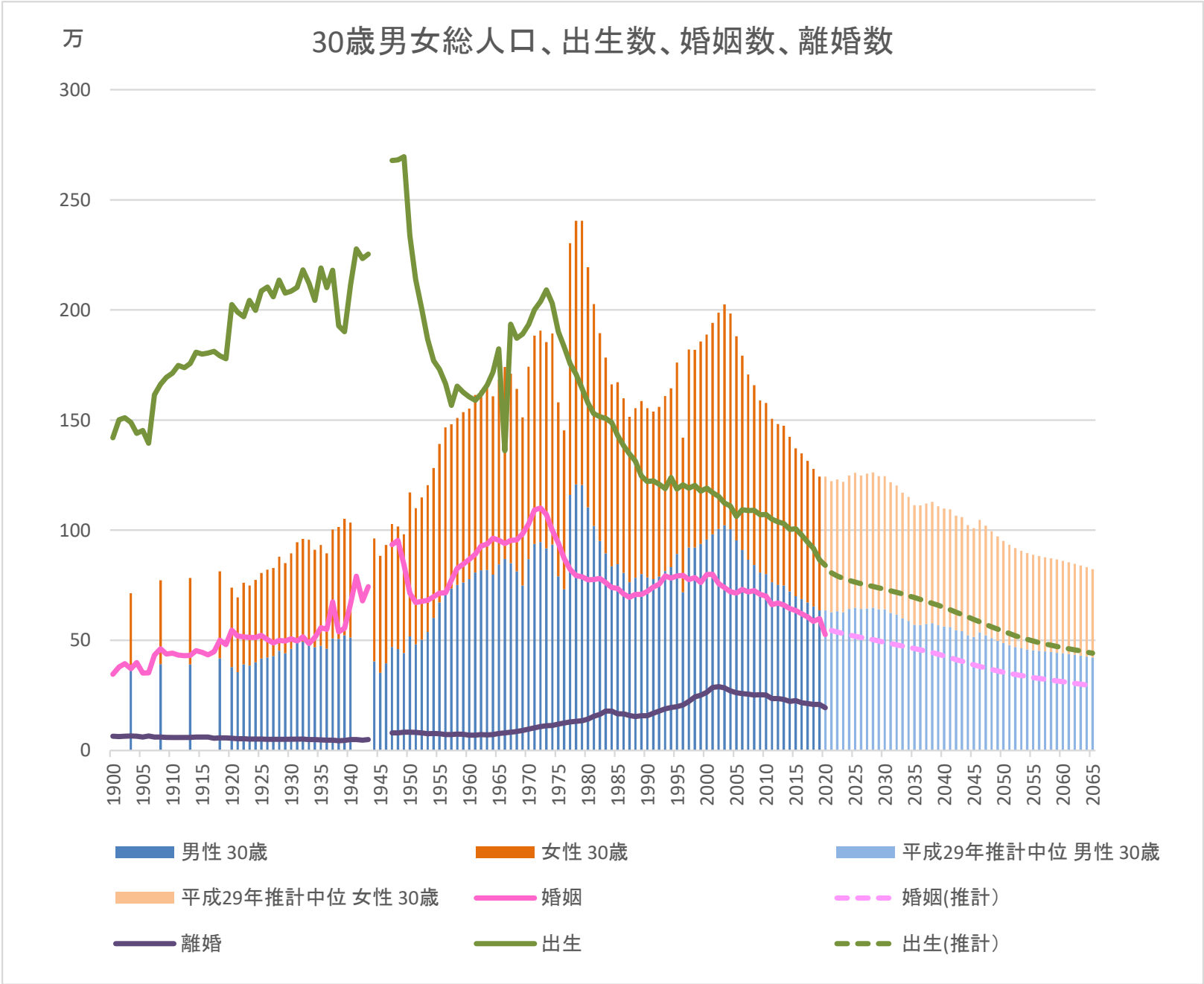
ポスト人口転換

- キョウダイが少ない、人的投資を受けた青年の登場（1960年代生まれ～）
- 息子と同様、娘も進学（女性の高学歴化、学歴の男女逆転）
- 多い20代男性と少ない20代女性
- 役割規範→個人主義、自己実現（未婚、離婚）
- 経済の低成長・格差（人口オーナス、新自由主義）

機会費用の上
昇

女性のエンパ
ワーメント

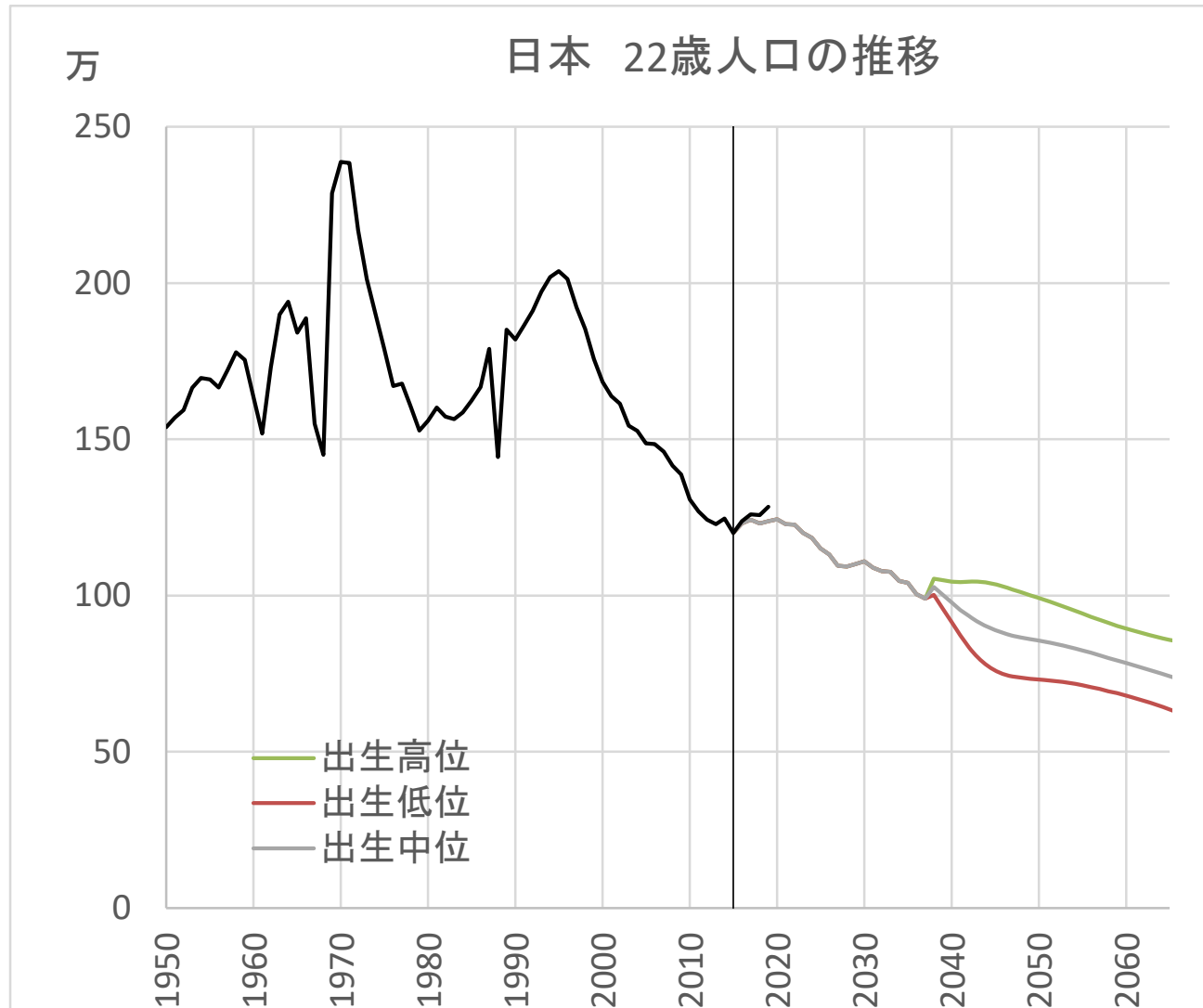
人口置換水準
以下の出生力
（少子化）



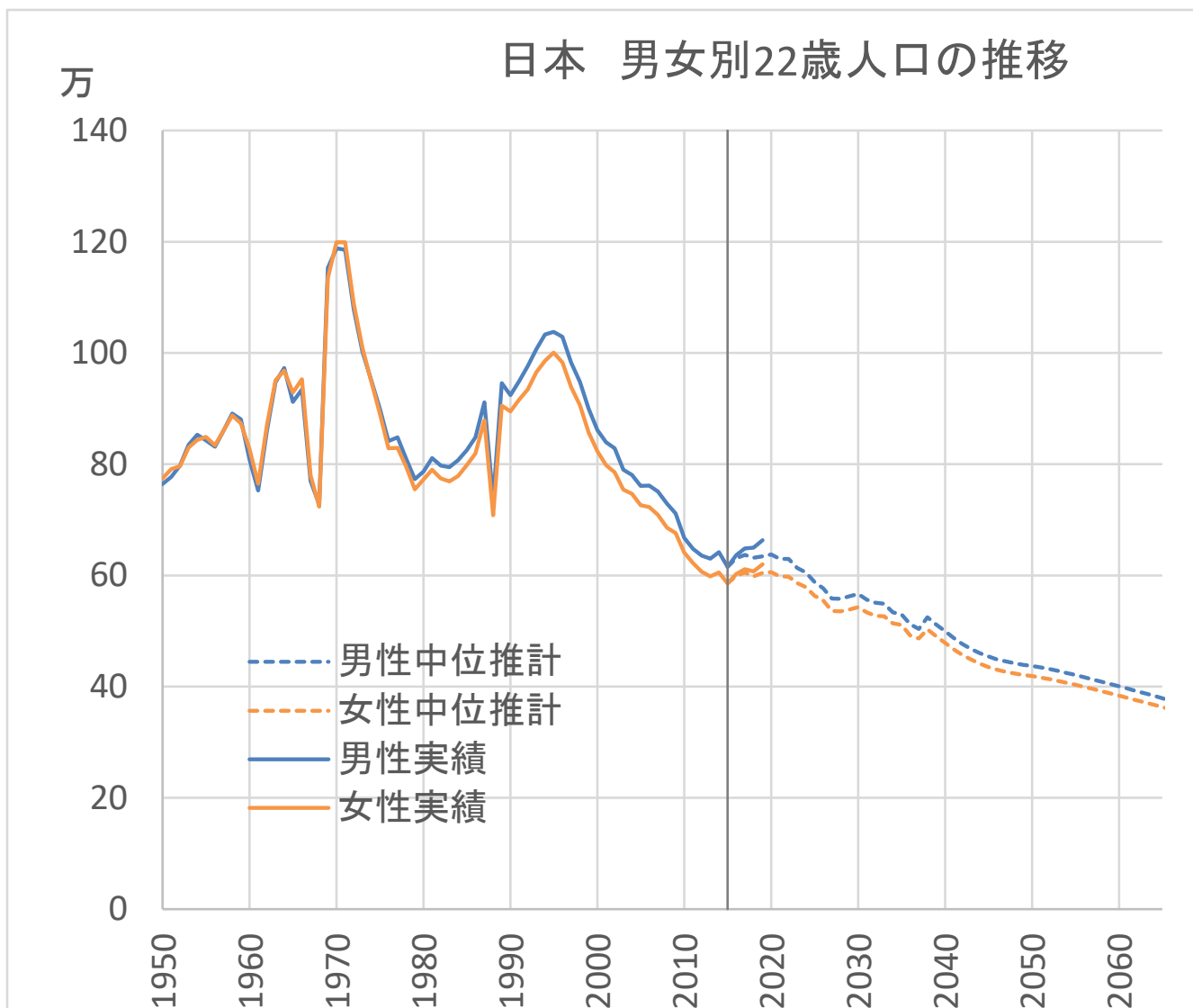
変化する男女バランス

女性のエンパワーメント、分業の非合理性

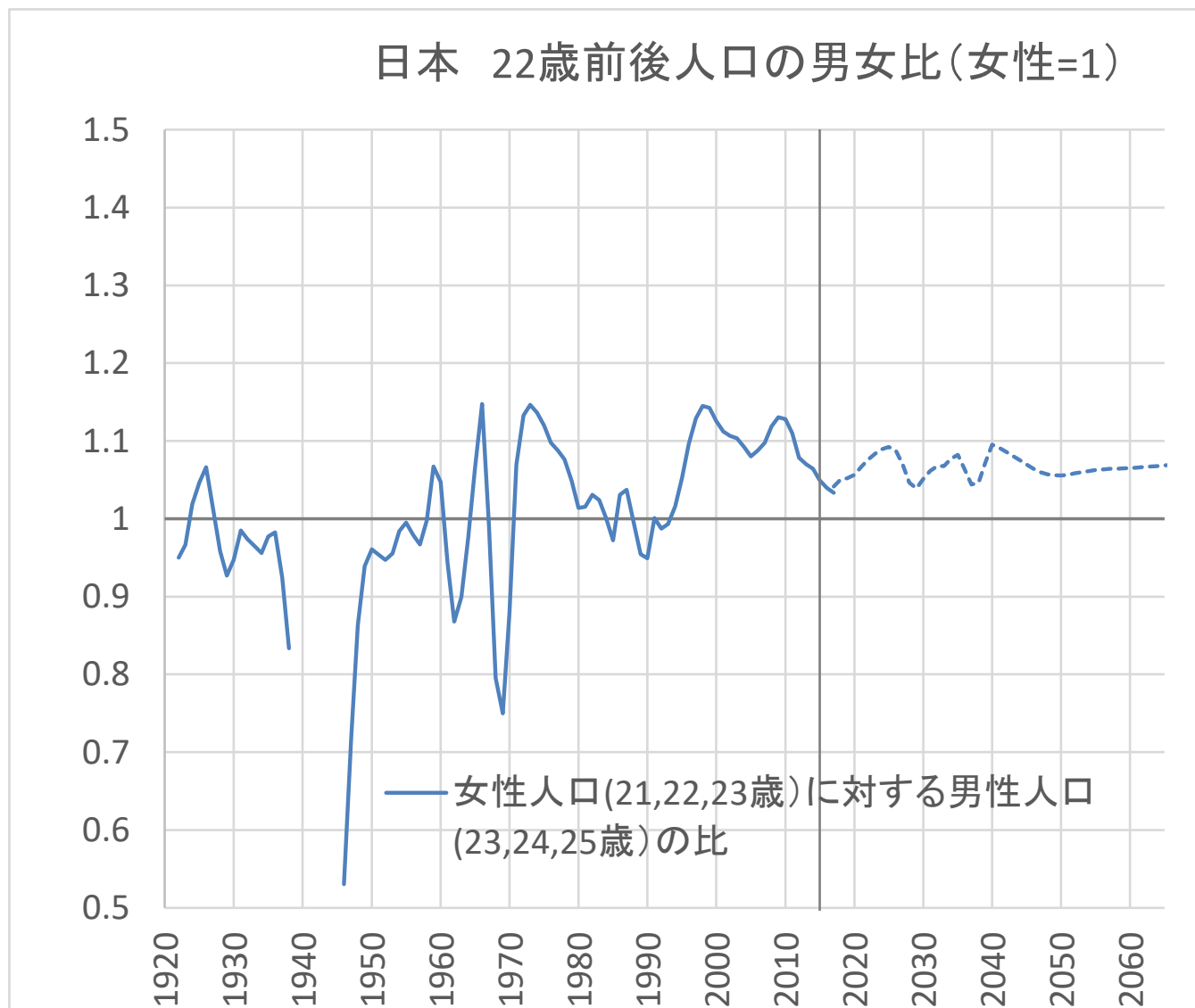
2030年代半ばまでは、ほぼ確実に急減する新卒者



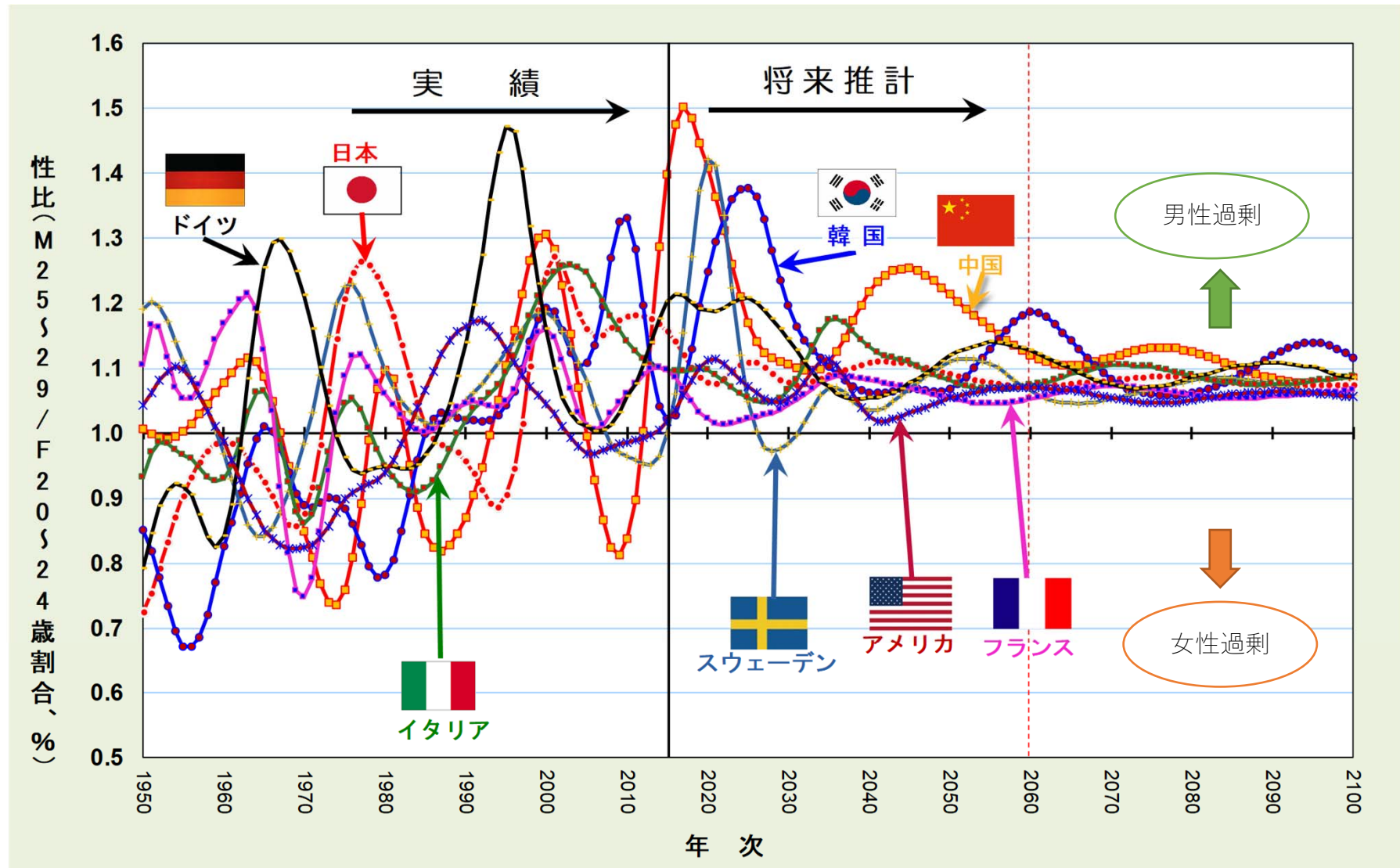
1980年代から男性人口が過大傾向



結婚市場において女性過剰から男性過剰に

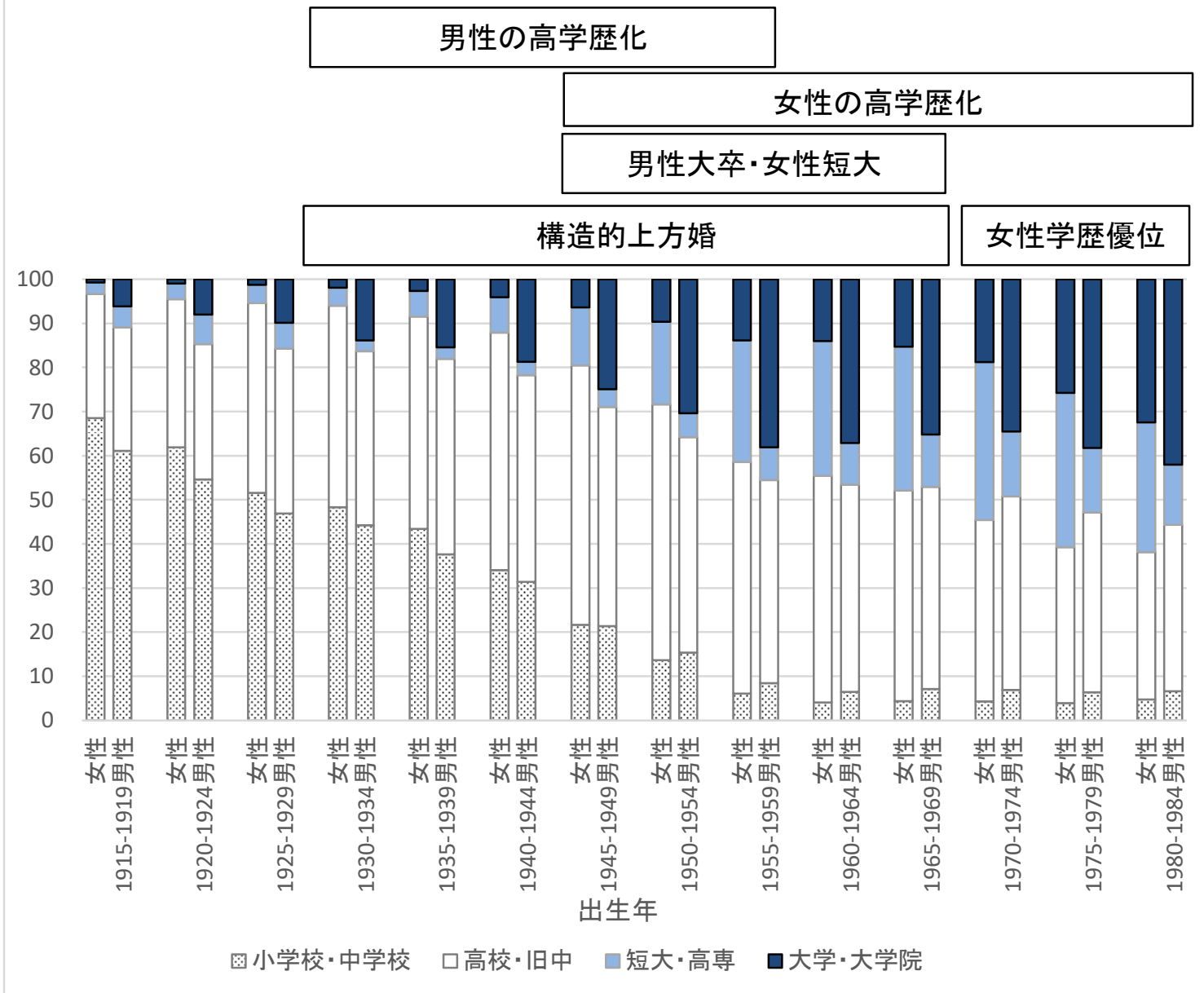


世界各国の性比(20代後半男性/20代前半女性)の推移：1950～2100年



資料：United Nations, 2019, World Population Prospects: The 2019 Revision, 日本は総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年2月推計[出生中位・死亡中位推計])」

出生年別、性別、学歴構成

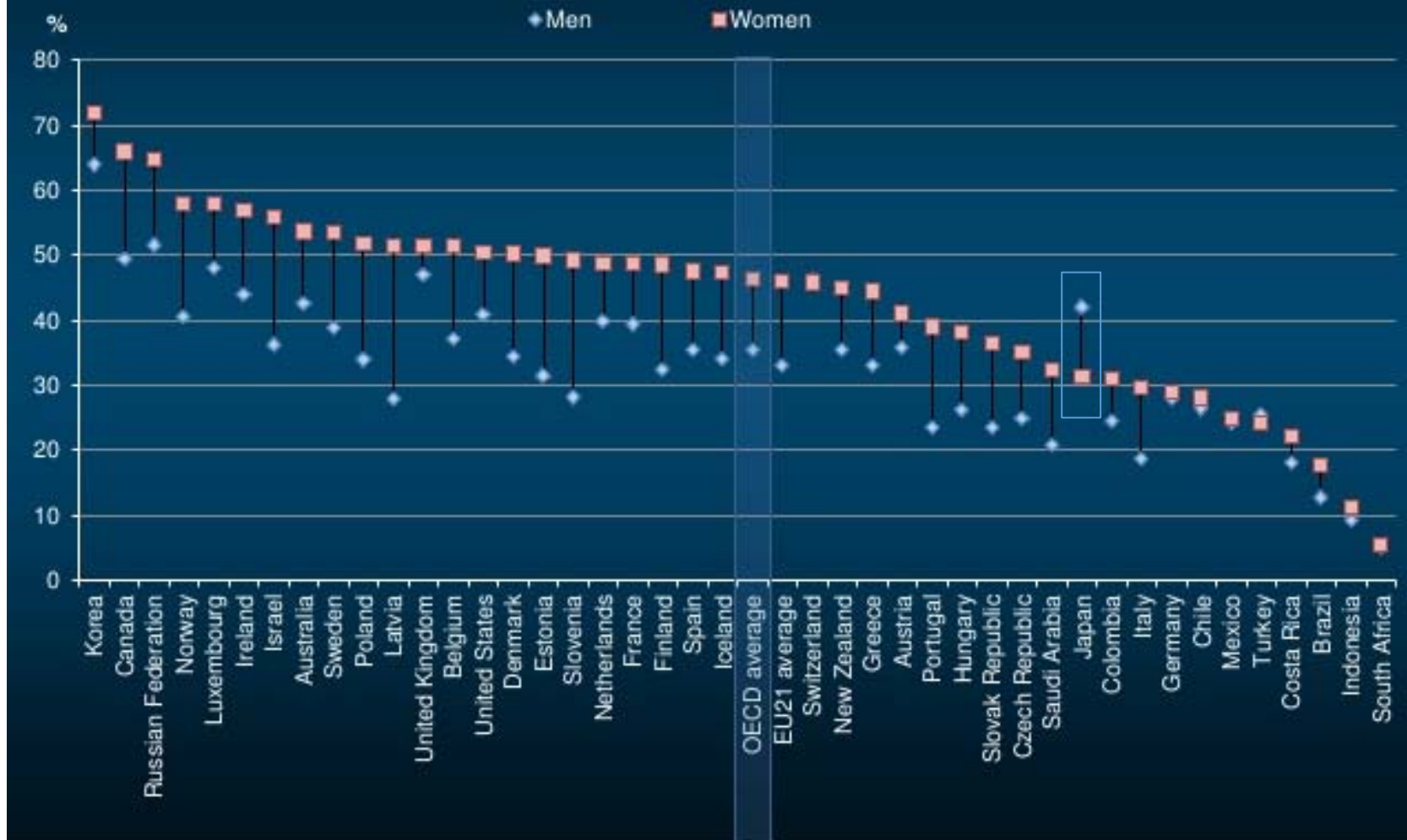


総務省「国勢調査」。年齢層別構成を概ね対応する生まれ年で表示。

Women are more likely than men to have attained tertiary education

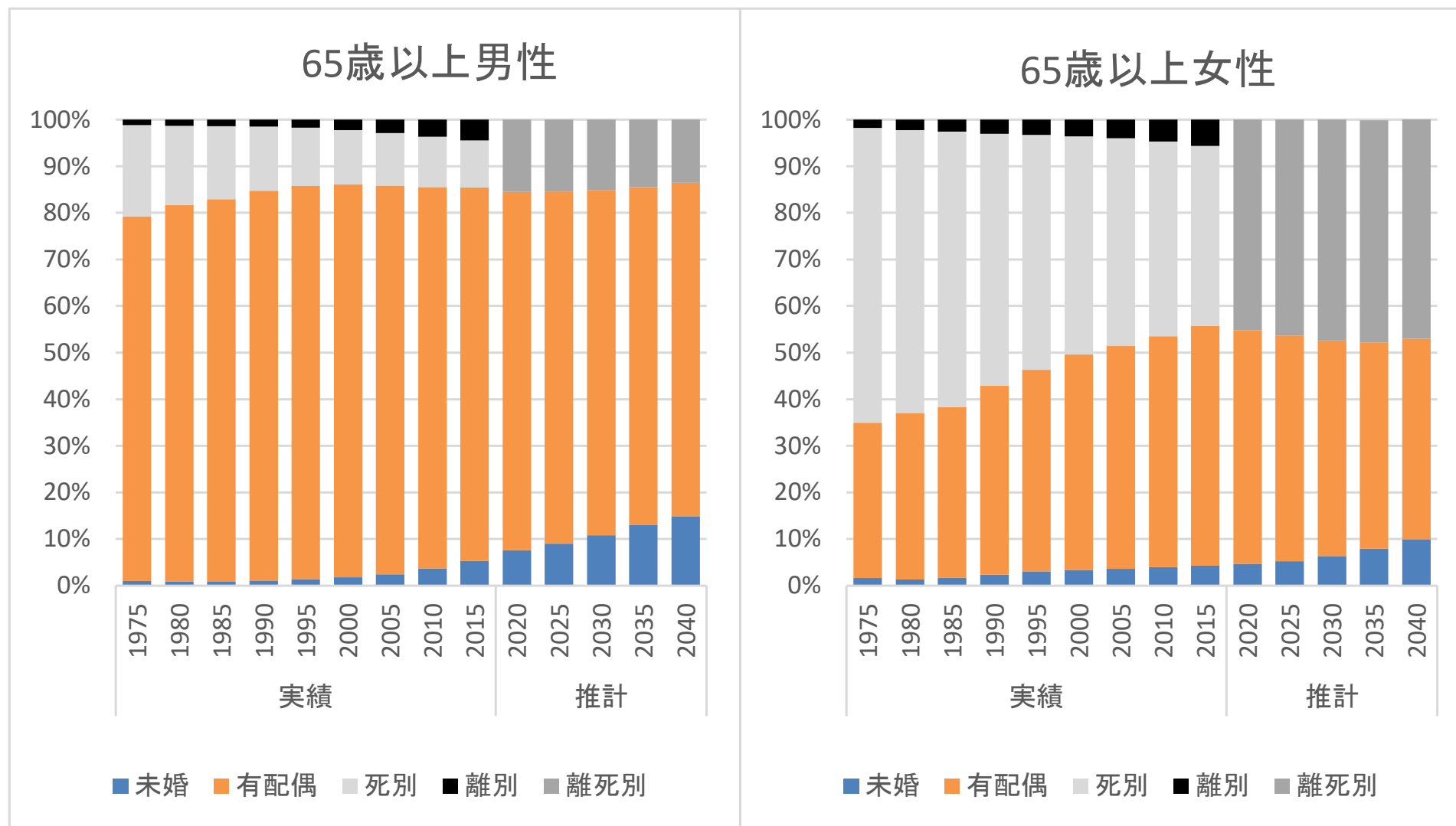
Chart A10.1

Percentage of 25-34 year-olds who have attained tertiary education, by gender (2014)



高齢者の配偶関係の推移

高齢者の単身化



男女平等論、その後

ジェンダー論の登場

- 機会費用仮説(経済学者Becker 1981)
- 世帯内の権力関係に着目 (フェミニスト経済学者Forbre 1983)
- ジェンダーシステム概念
Mason (1997)
男性と女性に対する社会的に構築された期待として定義
「女性と男性の間の分業と責任を規定し、それらに異なる権利と義務を与える」。
- 目標としてのジェンダー革命
人口の状況からも分業は非合理
働く女性が多い社会で子どもが産みやすい傾向
男女が共に働き、共に子育てを

一方でジェンダー革命の困難

- セカンド・シフト、「失速した革命 stalled revolution」 Hochschild (1989)
- 公的男女平等に遅れる家庭内平等(McDonald 2000)
 - 途上フェーズの超低出生力、コンフリクト
- 「未完の革命 Incomplete Revolution」 (Esping-Andersen 2009)

どう乗り越えるか

- 家事外部化、ケア社会化、AI
- 男女差・男女平等再考
 - パート就労を排除すべきではない。そもそも家庭を考慮しなくてよい仕事はない (Blossfeld and Hekim 1997)
 - オランダ1.5働き
 - “Why Women Still Can’t Have It All”(Slaughter 2012)
 - 子育てを就業と同じ価値に
 - 伝統／平等の二分法を超える(Brinton and Lee 2016)
 - Traditional/Pro-work conservative/Full egalitarian/Flexible egalitarian
 - ジェンダー平等ではなくジェンダー公平観equity(ただし評価が難しい)
- 男性の選択肢増、働き方改革、再社会化
 - 男女差がある社会は、男性にも相当な負担

- Sen, A. (2001) Population and gender equity, *Journal of Public Health Policy*, Vol. 22, No. 2, pp. 169-174.
- Becker, G.S. (1981). *A Treatise on the Family*. Cambridge, MA: Harvard University Press.
- Folbre, N. (1983) Of patriarchy born: The political economy of fertility decisions, *Feminist Studies*, 9(2): 261-284.
- Mason, K. Oppenheim (1997) Gender and demographic change: What do we know? In: G.W. Jones et al. (eds.), *The Continuing Demographic Transition*. Oxford: Clarendon Press, pp. 158-182.
- Hochschild, A.R. with A. Machung (1989) *The Second Shift. Working Parents and the Revolution at Home*. Viking: New York.
- McDonald, P. (2000) Gender equality, social institutions and the future of fertility, *Journal of Population Research*, 17(1): 1-16.
- Esping-Andersen, Gosta (2009) *The Incomplete Revolution: Adapting to Women's New Roles*. Malden, MA: Polity Press.
- Blossfeld, H.-P. and C. Hakim (1997) *Between Equalization and Marginalization: Women Working Part-time in Europe and the United States*. New York: Oxford University Press.
- Slaughter, A-M. (2015) *Unfinished Business: Women, Men, Work, Family*, Oneworld Publications.
- Brinton, M. C. and D. J. Lee (2016) Gender-role ideology, labor market institutions, and post-industrial fertility. *Population and Development Review*, 42(3): 405-433.